

# JECK Jica Expert Conference Kanagawa

## JICA帰国専門家連絡会かながわ

### 第7号

#### JECK2006年上半期活動ニュース

##### 平成18年度総会（第5回）

2006年4月15日（土）第5回総会がJICA横浜国際センターで開催されました。従来の帰国専門家間の交流、JICA横浜を始め、地方公共団体や国際交流団体などとの協力などを柱として、教育機関への働きかけ、分科会活動の推進などの諸計画が承認されました。引き続き、「JECKアソシエイツ」（NPO法人）の総会も開かれ、役員も選定されました。その内容は後述されます。会員皆様の積極的な参加が望まれています。

##### あ～すフェスタかながわ2006

JICA（国際協力機構）が世界各国で活躍している青年海外協力隊の活動を紹介しながら一般市民との交流を図る「あ～すフェスタかながわ2006」が6月3日（土）4日（日）の両日、あ～すプラザ（JR本郷台駅）で開かれました。国際協力セミナーや事業紹介ブースを始め、数十に及ぶ参加団体が集まり、屋台村やワークショップなどで世界の食物あり、珍しい品物あり、また舞台上での民族音楽を楽しむなど国際色豊かな会となりました。神奈川県国際交流も一般市民の参加が多くなり、しっかりとこの地に根付いた様子が感じられました。

##### JECK臨時拡大幹事会の開催

10月3日、YICで拡大幹事会が開催され、10数名の会員が参集しました。今年は当会の活動が活発になるに従って各方面からの情報も増加する一方で会員各位も所属先での本来業務が増加し、顔を合わす機会の調整がつきにくくなっています。主要議題に、JICAの市民協力事業公募に応じてフィジー国における魚の養殖事業を草の根技術協力で実施する件があり、JECKAとして協力申請することとしました。また神奈川県より、NGO国際協力会議委員推薦依頼があり、谷保事務局長を推薦することとしました。横浜NGO（YNN）との連携強化の件や横浜国際フェスタ2006に胡椒を展示販売する件などが話し合われました。胡椒は中之蘭代表幹事がベトナム出張時、購入されたものを胡椒の大家である後藤会員の目利きにより選別、日本で販売されているどの胡椒よりも品質がよいものとなりました。拡大幹事会は今後も案件ごとに開催します。

##### JICA横浜国際センター主催サマーパーティ

去る、8月25日（金曜日）、JICA横浜国際センターは、開発途上国から研修生にきている研修生と交流を図る目的でサマーパーティを開催しました。

今回のパーティは、日本の良さを引き出すために、盆踊り、スイカ割、各国の民族衣装のファッションショー、JICA職員による音楽等がありにぎやかな雰囲気の中で交流が行われました。日本の奥様は、和服で参加された研修生から和服に関する質問を受けていました。

東南アジア、中央アジア、アフリカの研修生が参加していました。特にスイカ割では、研修生が初めて参加、熱心にスイカを割れるように声をかけていました。自分が子供のころ夏祭りで行った光景と合致していたので楽しい雰囲気を味わうことが出来ました。



##### 横浜国際フェスタ

2006年の「横浜国際フェスタ」は11月18日（土）19日（日）の両日パシフィコ横浜にて華々しく開催されました。

今年は「フェスタ・アレグリア・ブラジル」と「横浜だがしや学校」も同時に開かれたので、大勢の子供達の参加もあり、例年にもまして賑やかなフェスティバルになりました。我がJECKもパネルによる会の活動PRや恒例の本場物の「胡椒販売」「各国硬貨の展示」などでフェスタを盛り上げました。

2日間に10数人の会員が手伝いに駆けつけて下さり無事に終了しました。



##### 後藤隆郎会員、「ペルーのカムカム」を出版

パラオに生まれ、戦争末期の'44年に帰国し、大学卒業後の1960年から再び海外へ出て、農業関係、とくに胡椒の専門家として30年以上の経験を持つ後藤会員がペルーに渡り、レモンの60倍のビタミンCを含んだ果物カムカムと出会って栽培する過程が、日々の生活と共に熱く語られています。

第1期の青年海外協力隊員時代から、専門家として過ごす中で、友人をテロで亡くしたり、マレーシアでは飛行機事故に会った同姓同名の人と間違われたりなどのエピソードも綴られています。YICのデスクにも置いてありますので是非御覧下さい。

後藤さんは、この売り上げをペルーの農業技術者招へい支援のために使用したいと思っています。

表紙



裏表紙